

本事業の事業スキーム

- 知財支援重点地域（令和6年度は青森県、石川県、神戸市）に形成したプロデューサーチームは、
 ①地域知財経営支援ネットワークの強化、②地域中小企業等への伴走支援、③知財マインドの向上・普及啓発を行う。
 ・令和7年度は支援地域を拡充するため、新規に自治体を公募する（2～3地域を予定）。

①地域知財経営支援ネットワークの強化

【連携強化】

- 地域知財経営支援ネットワーク連携会議（仮称）の開催
- プロデューサーチームミーティングの開催
- 知財経営支援人材の育成
- 各機関主催のセミナー等への相互協力
- 自走に向けたアクションプランの検討

③知財マインドの向上・普及啓発

【地域メディアを活用】

- 事業成果を地元TV、新聞等で情報発信
 - 本事業の成果発表会を開催
- ### 【JPOの広報チャンネルと連携】
- つながる特許庁との連携



特許庁

受託事業者

派遣

プロデューサーチーム

【求める役割】

- 中小企業等への事業化支援を主導
- 支援専門家と共に面的な伴走支援
- 地域支援機関等の巻き込み
- 会合等の出席、セミナー等の登壇など

知財経営支援ネットワーク

- JPO（経産局） ● 中小企業庁 ● INPIT
- 日本弁理士会 ● 商工会議所
- 自治体
- 地域支援機関 ● 地域金融機関
- よろず支援拠点 ● 地域メディア
- 弁護士、中小企業診断士、税理士、公認会計士 など

②地域中小企業への伴走支援

○知財経営支援ネットワークの強みを活かし、コンサルティングを行うプロデューサーチームを形成して、各フェーズでシームレスなサポートと支援メニューを提供

課題解決策の検討

知財・事業戦略等サポート

事業・知財創出

プロモーション・販路開拓

成果事例のリリース

プロデューサーチームの伴走支援

- 企業ヒアリング
- 知財等の課題分析
- 支援手法の検討

- 知財・事業戦略、支援メニューの提案
- 知財取得や知財活用の検討、ビジネスマッチング
- 知財経営支援ネットワーク（各専門家）と協働支援

- 製品プロモーションの検討
- 販売方法や海外展開等の検討
- マーケティング

- 地元メディアを活用
- SNS等でPR
- イベント等で成果発表